科目名	7	相談技	爰耳	<b>ታ</b>	理論と	:方法	ţШ									
科目名(英)	Т	heory ar	nd m	etho	d of consul	tation a	assistan	се Ш								
単位数		2			時間	数	;	30	担	当者		濱中美	紀			
実施年度		2022年	F度		実施時	·期	前	期	担当者	実務経駁	NP(	)法人にてボ	ランティア支援			
対象学科・学年		2022年度   実施時期 前期   担当者実務経験 NPO法人にてポランティア支援														
授業概要	,	ぶ。学生だ	が自:	身の	意見や考え	をもとり	にソーシ	ヤルワー	-クの理論	命を体得	できるよう					
授業形式	講	Theory and method of consultation assistance 田 2 時間数 30 担当者 濱中美紀 30 担当者 濱中美紀 2022年度 実施時期 前期 担当者実務経験 NPO法人にてポランティア支援 福祉心理学科3年 講義を中心に事例やグループワークを通して、ソーシャルワークに関する各種アプローチ等の理論背景を学ぶ。学生が自身の意見や考えをもとにソーシャルワークの理論を体得できるようにする。その上で、自身が指すソーシャルワーク像を描き、専門職として働く意識と価値を高めていく。 ま設 票報 監 できまい 実技: ※ 主たる方法:〇 その他: △ 目標 9 ソーシャルワークとは何か、価値を理解し、説明できる。 ソーシャルワークとは何か、価値を理解し、説明できる。 ソーシャルワークにおける各アプローチ法を理解する。 各専門職の中でのソーシャルワークが果たす役割を理解し、自身のソーシャルワーク像をもつ。 新・社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法II 第3版 授業項目・内容 授業外学修指示 担談援助の概念と対象 講義、グループワーク 講義、事例検討、グループワーク 清義、事例検討、グループワーク 清義、事例検討、グループワーク 清義、事例検討、グループワーク 清義 カーディネーション・ネットワーキングの意義と方法 グループワーク。 清義、事例検討、グループワーク 清義 相談援助における社会資源の活用・調整・開発① グループワーク、講義 相談援助における社会資源の活用・調整・開発② グループワーク、講義 半例検討、グループワーク、講義 相談援助における社会資源の活用・調整・開発② グループワーク、講義 半例検討、グループワーク、講義 単列検討、グループワーク、講義 事例検討、グループワーク、講義 単列検討、グループワーク、講義 事例検討、グループワーク、講義 事例検討、グループローク、講義 事別検討、グループローク、講義 事別検討 グループローク 事別検討 グループローク 事別検討 グループローク 第2 本記														
	言語 情報	福祉心理学科3年  講義を中心に事例やグループワークを通して、ソーシャルワークに関する各種アプローチ等の理論背景を														
	0	0			ソーシャル	クーク	とは何だ	い、価値	を理解し、	説明で	きる。					
学習目標	0	0	各専門職の中でのソーシャルワークが果たす役割を理解し、自身のソーシャルワーク修 ・社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法II 第3版													
(到達目標)		0	技能   接触   意歌   でいた   ソーシャルワークとは何か、価値を理解し、説明できる。   ソーシャルワークにおける各アプローチ法を理解する。   各専門職の中でのソーシャルワークが果たす役割を理解し、自身のソーシャルワーク像をもつ。													
			・社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法II 第3版													
テキスト・教材 参考図書	亲	授業項目・内容     授業外学修指示       ガイダンス、ソーシャルワークとは     理解度確認														
	回数		授業項目・内容 授業外学修指示 ガイダンス、ソーシャルワークとは 理解度確認 講義、グループワーク 講義、グループワーク													
	1	ガイダン	授業項目・内容 授業外学修指示 ガイダンス、ソーシャルワークとは 理解度確認 間談援助の概念と対象 講義、グループワーク													
	2	ソーシャルワークにおける各アプローチ法を理解する。       各専門職の中でのソーシャルワークが果たす役割を理解し、自身のソーシャルワーク像をもつ。         ボ・社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法II 第3版       授業項目・内容       授業外学修指示         ガイダンス、ソーシャルワークとは       理解度確認         相談援助の概念と対象       講義、グループワーク         ケースマネジメントについて①       講義、事例検討、グループワーク         ケースマネジメントについて②       講義、事例検討、グループワーク         グループワークを活用した相談援助       グループワーク、講義         コーディネーション・ネットワーキングの意義と方法       グループワーク、講義														
	3	講職   課職   課職   課職   課職   課職   課職   課職														
	4	計画														
	5	○ 各専門職の中でのソーシャルワークが果たす役割を理解し、自身のソーシャルワーク像をもつ。														
	6	コーディ	゚ネー	・ショ:	ン・ネットワ	ーキング	グの意義	え と方法		グ	レープワーク、	講義				
授業計画	7	相談援助	助に	おけ	る社会資源	の活用	∙調整∙	開発①								
<b>技术</b> 前凹	8	相談援	助に	おけ	る社会資源	の活用	•調整∙	開発②								
	9	ソーシャ	ッルワ	ラーク	における事	践モテ	・ルとア	プローチ	1	事	列検討、グル・	ープワーク、講	<b>美</b>			
	10	ソーシャ	ッルワ	ラーク	における頃	践モテ	・ルとア	プローチ	2	事	列検討、グル・	ープワーク、講	義			
	11	スーパ-	ービシ	ジョン	について					講	、グループワ	フーク				
	12	ケースナ	カンフ	アレ	ンスについ	τ				講	、グループワ	フーク				
	13	事例研3	究に	つい	<u>τ</u>					講	養、グループ「	フーク				
	14	全体の	まとぬ	<u></u>						講	義、グループ「	フーク				
	15	正試験	対策													
	① <u>ł</u>	受業の出	席状	:況②	授業への	参加度、	、内容の	理解度	3定期試	験で評値	西する。					
						言語情	報知	的技能	運動技	能態	度•意欲	その他	評価割合			
評価方法		2   時間数   30   担当者   濱中美紀   2022年度   実施時期   前期   担当者実務経験   NPO法人にてボランティア支援   福祉心理学科3年   福祉心理学科3年   議金中心に事例やグループワークを通して、ソーシャルワークに関する各種アプローチ等の理論背景を考え。その上で、自身が高すソーシャルワーク像を描き、専門職として働く意識と価値を高めていく。														
	授	Theory and method of consultation assistance III  2														
		Peory and method of consultation assistance II														
履修上の注意	ㅂ	出席が2/	/31:	こ満 <i>†</i>	こない場合	は、評価	五の対象	えとしない	`							

科目名	精补	伸障	宇君	が生活	5支接	爰シスラ	-7	•							
科目名(英)															
単位数	2	2単位		時間数	ţ	30時間		担当者		宮﨑	聡				
実施年度		2022		実施時	胡	前期	担当者実務網	経験 病院に	て精神保健福	祉士として勤務					
対象学科・学年	福祉	心理学和	4 3	<del></del> 年	·										
授業概要	者の生た事例	E活のし <sup>っ</sup>	づらさ て、生	を専門職の礼 活支援につい	見点から: <b>`</b> て検討:	身につける。を深め、支持	ことは 爰の知	、現場での即 知識に加え支	]戦力へと繋が 援活動が展開	る。講義では、	を学び、精神障害 、テキストに沿っ も力を身につけ を深める。				
授業形式	講義:	$\bigcirc$	演	習:	実習	:	実技	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語 知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他		•			目標							
	0			障害の概念	ことなる	ICFや障害	の紡	計データを:	学び精神障害	害を説明する	ことができる。				
学習目標	0									、事例に応用	できる。				
(到達目標)	0									•					
		0						-							
				事例から精	神障害	者のニース	ズを	把握し適切な	は支援の提供	や配慮する	ことができる。				
テキスト・教材 参考図書	中央	事例から精神障害者のニーズを把握し適切な支援の提供や配慮することができる。 中央法規出版 新・精神保健福祉士養成講座7 精神障害者の生活支援システム  授業項目・内容 授業外学修指示  「障害の概念(ICF、障害者基本法、精神保健福祉法)の理解													
	回数	精神障害に対する様々な支援方法について互いに意見を交わすことができる。 事例から精神障害者のニーズを把握し適切な支援の提供や配慮することができる。 中央法規出版 新・精神保健福祉士養成講座7 精神障害者の生活支援システム 授業項目・内容 授業外学修指示 障害の概念(ICF、障害者基本法、精神保健福祉法)の理解 該当範囲を事前に読んでおくこと ICFを用いた事例検討													
	1 障害	中央法規出版 新・精神保健福祉士養成講座7 精神障害者の生活支援システム 授業項目・内容 授業外学修指示 障害の概念(ICF、障害者基本法、精神保健福祉法)の理解 該当範囲を事前に読んでおくこと													
	2 ICF	事例から精神障害者のニーズを把握し適切な支援の提供や配慮することが中央法規出版 新・精神保健福祉士養成講座7 精神障害者の生活支援システム 授業項目・内容 授業外学修指示障害の概念(ICF、障害者基本法、精神保健福祉法)の理解 該当範囲を事前に読んでおくこと													
	3 精神	障害者(	の生活	ちの実際		該当範囲を事	前に読んでお	くこと							
	4 精神	障害者(	の生活	5支援の理念	と概念		該当範囲を事	前に読んでお	くこと						
	5 地域	生活には	おける	 精神障害者	該当範囲を事	前に読んでお	くこと								
	6 精神	  障害者(	の居住	 È支援					該当範囲を事	前に読んでお	くこと				
1-4 All = 1	7 精神	神障害者(	の居住	主支援に関す	る事例が	 食討			該当範囲を事	前に読んでお	くこと				
授業計画	8 行政	なにおける	る相談	 援助					該当範囲を事	前に読んでお	:<こと				
	9 精神	神障害者(	の就す	 5支援					該当範囲を事	前に読んでお	:< <b>こ</b> と				
	10 外剖	 『講師(就	労支:	援事業所 職	 員)による	就労支援σ	実際	 学を予定	該当範囲を事	前に読んでお	:< <b>こ</b> と				
	11 精神	神障害に関	<b>男する</b>	映画観賞と	ンポート作	 作成課題			レポート課題	のため提出期	限を厳守				
	12 精神	神障害者(	の地域	 域生活支援シ	ステム①	)			該当範囲を事	前に読んでお	:<こと				
	13 精神	<b>神障害者</b> (	の生活		42				該当範囲を事	前に読んでお	くこと				
	14 講義	総括①							該当範囲を事	前に読んでお	くこと				
	15 講義	総括②	(前期	定期テスト対	·策)				該当範囲を事	前に読んでお	くこと				
評価方法	<ul><li>②レポー</li><li>③定期記</li></ul>	ト課題を 試験(筆記	出す	ため精神保優 施する	福祉士。	としても専門	的な	視点から課題	性が可能かを 風に適した内容 、D(59点以下)	かを評価する					
				1	語情報		能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
		定期記			0	0			0		80%				
	7	宮題・レ	ボー	-	0	0			0		20%				
履修上の注意	授業	への欠問	まも診	平価に含める	<b>5</b> 。										

科目名	÷	精神係	呆份	建福	祉援	助演習	Ⅱ(専門)	)			
科目名(英)											
単位数		4単位	立		時間	数	60時間	担当者		中山か	 おり
実施年度		2022年	 F度		実施	<b>時期</b>	前期	担当者実務網		医療ソーシャル「 健福祉士)	フーカー
対象学科・学年	<b>7</b>	 畐祉心理	学科	3年					(THIT IA	佐福加工/	
授業概要	し導す扱と	、て習得でき 算を行う。 お おことが必 受助技術と この協働・通	きる保 神要で し携す	うに、 健福社 ある。 【念化し る相談	精神保健福祉 业援助の知識 精神保健福 <sub>ン</sub> 理論化し体 炎援助に係る	业援助実習に と技術に係る 祉士に求められ 系立てていくこ 具体的な相談	らける学生の個別他の科目との関うれる相談援助に係 ことができる能力を	川的な体験も視野 連性も視野に入れる よる基礎的な知識 と身につけること 的に取り上げる。	に入れつつ、集 れ、精神障害者の 戦と技術について を目的とする。①	団指導並びに個の生活や生活上の 大生活や生活上の 大実践的に習得 一般合的かつ包括	実践的な知識と技術と 別指導による実技指 の困難について把握 するとともに、専門的 がな相談援助、医療 して、擬態的な援助
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 〇	実習:	実	技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△
	言語 情報	知的 運動技能 技能	態度 意欲					目標	Į		
	0	0	0		精神障害者	の生活や生活	上の困難につい	て理解し、説明で	<b>できる</b> 。		
学習目標		0 0	0		精神保健福	祉士に求めら	れる相談援助に	系る知識と技術に	こついて習得し、	説明できる。	
(到達目標)		0 0			専門的援助	技術として概念	念化し実践場面の	中で活用できる	0		
テキスト・教材	27	 適宜、資 <sup>決</sup>	ki 표그	<u> </u>							
参考図書	יג	◎丑、貝∕	NTEL	נור							
	回数				授	業項目・内	 容			授業外学修	 指示
	1	オリエン	テー	ーショ	ン 授業の	進め方や根	既要について記	 兑明	実習日誌		
	2~8	精神保健	福祉	援助実	習における!	学生の個別体	験の一般化及び	グループワー	精神保健福祉技 PP作成、報告:		り返りを行っておくこと
	9,10	_			* <sup>医相等</sup> :括会(実習				レポート提出	云貝科TF风	
	11,12	事例:社	 上会的	勺排隊	<del></del>		第11回以降		授業内で提示		
	13,14	事例:退	院支	援、地	· 地域移行、地		例を題材にし 助場面及び		授業内で提示		
		事例:ビ						したグループ	授業内で提示		
授業計画	17,18	事例:地域	ずにお	ける精	精神保健(自希	<b>ひ、引きこも</b> り)	を行い、アウ	トリーチ、ケ	授業内で提示		
	19,20	事例:地域	におけ	ける精神	申保健(薬物、	アルコール依存)	_アマネジメン プローチ、ネ	ットワーキン	授業内で提示		
	21,22	事例:地	域に	おけん	 る精神保健	(児童虐待)	→グ、社会資源 整・開発等の	原の活用∙調 O実技指導を	授業内で提示		
	23,24	事例:教	育、	就労	;		行う。		授業内で提示		
	25,26	事例:貧	困、	低所	i得、ホーム	ムレス			授業内で提示		
	27,28	事例:精	神和	斗リハ	ドリテージ	ション			授業内で提示		
	29,30	その他の	)危機	幾的状	態にある精	<b>青神保健福祉</b>			授業内で提示		
	以」	Lを下記	の観	点:	割合で評価	<b>fi</b> する。	<b>実施する。授業</b> ↓上)・B(70点				
評価方法						言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
H I IMI / J /A				ポート			0		0		30%
	授	業態度・			参加度		_	0	0		30%
		発	表•亻	乍品		0	0	0	0		40%
履修上の注意	l,										 図Ⅰでの体験を振 ス得することができ

科目名	}	精神係	呆仮	建福	祉援助	実習拮	指導 I	I				
科目名(英)												
単位数		2単位	立		時間数		30時間		担当者		中山か	おり
実施年度		2022年	度		実施時期	ij	前期		担当者実務		療ソーシャル 建福祉士)	ワーカー
対象学科·学年	<b></b>	富祉心理	学科	3年		'						
授業概要	見て	態や生活 C実習に	上の 必要	困難な知	について授	業を行う。 確認、精	「実習要 神保健福	綱」「	実習日誌」等	を利用し、集	団指導及び	びその生活の実 個別指導を通し 己に求められる
授業形式	講	義: (	)	演 <sup>2</sup>	習: 0	実習:	Δ	実	技:	※ 主力	≿る方法:○	その他:△
	言語 情報	知的 運動技能 技能	態度 意欲	その他		•			目標			
学習目標		0	0		精神保健福祉	援助実習の	意義につい	て理解	解できる。			
(到達目標)	0	0	0				0 70 7.1 2	.,,,, - ,		ドヤ生活上の困難 		説明できる。
	0	0	_							実際的に理解でき		
	-	 実習日誌	0		精神保健福祉士	として求めら	られる資質、	技能、	倫理、自己に求め	られる課題把握等	等、総合的に対応	できる能力を習得する。
テキスト・教材 参考図書	酉	记布資料	隽「ソ	ーシャ	ァルワーク実習	『ノート」 柞	朱式会社∂	みらい	ı			
	回数				授業	項目・内容	容				授業外学修	
	1	オリエン	テーシ	タン	授業の進め方	や概要に	ついて説明	]/実習	☑Ⅰ振り返り	精神保健福祉拼 意	援助実習 I で使り	用した実習日誌の用
	2	実習日	誌へ	の記	録内容及び	記録方法	に関する	理解	<u>{</u> (1)	精神保健福祉排 意	援助実習 I で使り	用した実習日誌の用
	3	実習日	誌へ	の記	録内容及び	記録方法	に関する	理解	2(2)	精神保健福祉措	援助実習 I で使り	用した実習日誌の用
	4	実習を行	テうか	<b>を設</b> 等	等に関する基	本的理解	翟(1)			実習 I においていて、制度と照		設の役割や機能につ
	5	実習を行	行う方	<b></b> 包設等	等に関する基	本的理解	翟(2)				実習を行った施	設の役割や機能につ
	6	利用者:	理解							授業内で提示		100 (03)
	7	利用者:	理解							授業内で提示		
授業計画	8	実習日	誌や	実習	体験を踏まえ	た課題の	の整理			実習日誌		
	9	実習必	要書	類の	作成(1)							み要書類を作成し、×
					作成(2)						習計画書など必	ら 要書類を作成し、 メ
											習計画書など必	。 要書類を作成し、<
	12	<b>非州</b> /兄/建			められる職業倫	理と法的責	養務、実習に	こおけん	る個人のプライ	切期限までに提 授業内で提示	出する	
			護と守 (実習	『秘義』 『生、実	務の理解 ミ習担当教員、ミ	実習先の指	導者との三	者協領	後を踏まえた実	授業内で提示		
	13									授業内で提示		
		実習前				1200-5				2200		
					旨導・スーパ- 		<b>'</b> )					
	欠席 実施	ま・遅刻に 記した上で	は厳 、精	しく対 伸保優	建福祉援助実	ポート、宿 習Ⅱの実施	色の可否を	判断		下記の観点・割		・重視し、小テストを 。成績評価基準は、
評価方法						語情報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合
		宿題・レ			<b>書類</b>	0	0			0		30%
	1		ケン		<b>↔  </b>	0	0			0		30%
		業態度・				5 <b>~</b> =# =≠ -	ナ ヘ ー ' =	<del></del>	7+\	の進供が示さ	<b>ブルフーレ</b>	40%
履修上の注意	1. 3.	爰助実習	Ⅱ 」 実習	の条信 記報告	件となる:①#	青神保健:	福祉援助	実習	"Ⅰの振り返り	リレポート等の	)提出、②精神	「精神保健福祉 神保健福祉援助 習前の個別・集団

科目名	精补	申保係	建福	祉の理	論と	:相談援	助	の展開I	П						
科目名(英)															
単位数	2	単位		時間数		30		担当者		廣田 1	<b>党子</b>				
実施年度	20:	22年度		実施時期	]	前期	担当者実務網	圣験	大学教	員					
対象学科·学年	福祉心	心理学科	4 34	ŧ											
授業概要	援、地域 が強調	或を基盤に されている	こしたね		<u>∶</u> 対象、 載を基盤	ケアマネジメン Mにした支援や	ト、地 展開 <i>0</i>	域を基盤にした。 D基本的な考える	支援とネットワー 方や必要な技術を	キング等からなる	の展開、地域移行支 る。』"地域を基盤に" 行う。 ※ 新精神保				
授業形式	講義:	0	演	習: △	実習	1:	実	支:	※ 主 <i>t</i> :	る方法:〇	その他:△				
	言語 知的 情報 技能	運動 態度 技能 意欲	その他					目標							
	ΟΔ	0		1、精神障害を対象とむ)の展開について理			助·集団	援助の過程と相談援	助に係わる関連援助	や精神障害者と家族の	り調整および家族支援を含				
学習目標	ΟΔ	0		2、精神障害者の地域	或移行支	援および医療機関と	上地域の	連携に関する基本的	お考え方と支援体制の	の実際について理解す	<b>⊤</b> る。				
(到達目標)	ΟΔ	0		3、地域リハビリテー専門職との連携につ					コミュニティワーク(地均	相談援助に係わる組	織、団体、関係機関および				
	О	0		4、地域生活を支援す	よる保健・	医療・福祉等の包括	舌的な支	援(地域精神保健活	動)の意義と展開につ	いて理解する。					
テキスト・教材 参考図書	テキスト:精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II (中央法規 第5巻) 参考図書:授業中に紹介する         回数 授業項目・内容 授業外学修指示         1 オリエンテーション														
	回数	授業項目·内容													
	1 オリ	オリエンテーション テキストの該当ページを読んでおくこと													
		目談援助活 31医談探日		展開 の内容と方法 2	個別:	支採の宝際と	医侧分	·析	テキストの該当・	ページを読んでは	らくこと				
	2 3.			支援の実際と事例					テキストの該当・	ーージを読んでa	。 らくこと				
	A   -			)実際と事例分析 おける精神障害者		の関係			テキストの該当・	 ページを読んで <i>i</i>	::<こと				
		家族支援							テキストの該当・		S<こと				
	6 3、事	例による	家族訓	整・支援の検討					テキストの該当	ページを読んでa	5< <b>2</b> E				
1 m 4 k = 1				および支援体制 2、地域移行の	)体制				テキストの該当	ページを読んでa	5< <b>2</b> E				
授業計画				の役割と多職種と		Ė			テキストの該当	ページを読んでa	5< <b>2</b> E				
	9 4、精	<b>神科入院</b>	患者の	の地域移行支援・	地域定	Z着支援の取り	組み		テキストの該当・	ページを読んでは	S<25				
	10 5、地	域移行に	かかれ	つる機関と組織	6、事何	川による地域移	行支护	暖の検討	テキストの該当・	ページを読んでは	S<25				
				:相談援助の主体 J巻く社会的状況			主体		テキストの該当・	ページを読んでa	S<25				
	12 3、地								テキストの該当・	ページを読んでは	さくこと				
	13 4、地	域相談援	動の値	本制					テキストの該当	ページを読んでa	5< <b>2</b> E				
	14 5、事	例による	地域を	基盤にした相談	援助活	動の検討			テキストの該当・	ページを読んでa	S<25				
	15 前期	月授業 :	振り込	 支り					テキストの該当・	ページを読んでa	S<25				
	③態度 以上を下	記の観点	₹∙割1	受験に基づく法: 合で評価する。 !点以上)・A(80							日時までに提出)				
評価方法				言	語情報	報 知的技	能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
		定期記	式験		0	0					80%				
	7	宿題・レ	ポー	-	0	0					10%				
	授	業態度	参加	度					0		10%				
履修上の注意				要な科目である					場合け数員が						

科目名	7	交活	たゼ	ÈΞ	Ш-	-(1)														
科目名(英)																				
単位数		1.	単位			時	間数			16時	間		担当者				馬場・	一美		
実施年度		202	22年月	度		実加	施時期	Ŋ		前期		担	3当者実務	<b>圣験</b>	居宅介證	支援	事業所に	こて木	目談員	
対象学科・学年	礻	畐祉心	)理学	2科3	3年									·						
授業概要		技能   技能   接総   総数   その他   積極的な姿勢を持って、他学年の学生やグループ内の学生とコミュニケーションを図ることができる。   物事の段取りを修正しながら、臨機応変な対応を行いつつも計画的に行事を実行することができる。   物怖じすることなく、積極的にレクリエーションに参加することができる。   グループの中心となり、レクリエーションを企画・運営することができる。   人間同士の関わりの中で、人間関係の調整を図ることができる。   なし   授業項目・内容   授業外学修指示   グループ内の自己紹介・他己紹介   グループ内でのレクリエーション   グループ内で活動内容を協議しておく。   グループ内でのレクリエーション   グループ内で活動内容を協議しておく。														曼終的				
授業形式	講	義:			演	習:	0	実	習:	0	実	技:	:		※ 主	たる方	法:0	そ	の他:	Δ
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他								目標	Ę						
				$\bigcirc$		積極的	な姿勢	を持っ	って、	他学年	の学生	ŧψ	グループ内	の学生	ミとコミュ	ニケー	-ションを	図る	ることが	できる。
学習目標					$\bigcirc$	物事の	段取り	を修〕	正しな	<b>iがら、</b>	臨機応	変な	な対応を行い	ハつつ	も計画的	りに行	事を実行	する	ことがつ	できる。
(到達目標)			<ul><li>グループの中心となり、レクリエーションを企画・運営することができる。</li><li>○ 人間同士の関わりの中で、人間関係の調整を図ることができる。</li></ul>																	
			○ 人間同士の関わりの中で、人間関係の調整を図ることができる。 し																	
テキスト・教材 参考図書	<i>†</i>	なし 授業項目・内容 授業外学修指示 グループ内の自己紹介・他己紹介 グループ内で活動内容を協議しておく。																		
	回数		し 授業項目・内容 授業外学修指示 グループ内の自己紹介・他己紹介 グループ内で活動内容を協議しておく。																	
	1	グル	□ 人間同士の関わりの中で、人間関係の調整を図ることができる。  □ 授業項目・内容 授業外学修指示  ヴループ内の自己紹介・他己紹介  ヴループ内でのレクリエーション  グループ内で活動内容を協議しておく。																	
	2	グル	世業項目・内容 授業外学修指示  ブループ内の自己紹介・他己紹介  ブループ内でのレクリエーション  グループ内で活動内容を協議しておく。																	
	3	グル	授業項目・内容 授業外学修指示  ブループ内の自己紹介・他己紹介  グループ内で活動内容を協議しておく。  グループ内で活動内容を協議しておく。																	
			授業項目・内容 授業外学修指示 ブループ内の自己紹介・他己紹介 グループ内で活動内容を協議しておく。 ブループ内でのレクリエーション グループ内で活動内容を協議しておく。 ブループ内でのレクリエーション グループ内で活動内容を協議しておく。																	
														グルー	-プ内で活	5動内容	『を協議し	てお	<u>ن</u>	
														グルー	-プ内で活	動内容	を協議し	てお	۲.	
														グルー	-プ内で活	5動内容	を協議し	てお	۲.	
授業計画																				
	8	グル	・一ブ	内で	のし	ノクリエ・	ーショ	ン						710	J P 1 C/E	14/11/11	「こ 川時に			
	9																			
	10																			
	11																			
	12																			
	13																			
	14																			
	15																			
		に臨っ	む姿	勢、	態度	まが第一	-優先	とする	る。											
評価方法								語情	報	40 65	技能	2'		能由	·意欲	<b>ユ</b>	の他		評価書	 레스
肝ਘ刀法			井 用	<b>東</b> 状況	: П		+=	ᇛᅝ	+IX	ヘルロン	汉肥	+ 1	生到汉化		· · 总钦 〇	-	기반		計1四音	
			TT1 )-	ti 1人 /	ルし										<u> </u>				100	/0
							+													
履修上の注意	出	出席か	∛2/3	に満	けこた	い場合	-       	単位〕	取得	ができ	ない。	授:	業態度が著	<b>善しく</b> 悪	悪い場合	は出	席とみ	なさ	ない。	-

科目名	カワ	ウンヤ	セリン	/グ概論											
科目名(英)															
単位数		2単位		時間数		30時間		担当者			富沢理	恵			
実施年度	20	)22年度	支	実施時期	1	前期		担当者実務終	圣験						
対象学科・学年	福祉	心理学	科3年												
授業概要	カウン 身につ	2022年度   実施時期   前期   担当者実務経験													
授業形式	講義:	0	演 <sup>2</sup>	習: △	実習:		実打	支:	>	※ 主た	る方法:〇	その他:△			
	言語 知的情報 技能	運動 態技能 意						目標							
	0 0	(	0												
学習目標			_												
(到達目標)			_									きる。			
	0 0	(	<u> </u>	交流分析の	ストロー	ク理論を理	と 解し	/他者と円滑	にかか	わること	とができる。				
テキスト・教材 参考図書	講師	授業項目·内容 授業外学修指示													
976	回数	授業項目•内容 授業外学修指示													
		授業項目•内容 授業外学修指示													
	2 授業	<ul><li>・オリエンテーション ・心理カウンセリングとは</li><li>授業内の傾聴訓練で「自分のこと」を語ることができるよう、ワークを通して「自分</li></ul>													
	_ 213				. # o A H	+> =11>.6	s <sup>n</sup>								
					受容」繰り	」返し」明確・	化]と	lt.							
	0 171														
授業計画	/ チャ	一」「身体	本接触」「	声の質量」											
	8 ・カワ	ウンセリン 	ングの非	言語的技法とは・	「服装」「個	座り方」「時間	厳守.	」「言葉遣い」							
	9 ·技	法を用い	てのロー	-ルプレイング・	グループシ	ンェアリング 	·全体	シェアリング							
	10 交流	たか析とは	ま 												
	11 ·I	ゴグラム。	とは・エ	ゴグラムの作成											
	12 • エ	ゴグラム(	のシェアリ	リング											
	13 交流	をおおける おおおり おおり こうかん こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしん こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅう	ら考える「	「会話」の分類											
	14・ス	トロークと	<u>-</u> は・条	件の有無/否定	<ul><li>肯定のス</li></ul>	トローク									
	15 カウ	ンセリン	グ現場で	での交流分析の導	入										
	(2)授業	への参	加状污	:実施する。 ?(ペア&グル- 90点以上)・A								<b>ర</b> ం			
評価方法				言	語情報	知的技	能	運動技能	態度	-意欲	その他	評価割合			
		定期	<b>非試験</b>		0	0						70%			
		グルー	プワー	ク		0			(	)		30%			
履修上の注意	出席	が3分(	の2に	<b>満たない場合</b>	は、定期	試験の受	験資	የ格を与えなし	۰,۱۰						

科目名	1	吉報力	ЛŦ	1 Π											
科目名(英)															
	11			oces	J		001±88		to W #		52 <del>5</del> 7 -				
単位数							30時间		担ヨ有						
実施年度		2022年	- 度		実施時期	切	前期		担当者実務網	経験シス	ステムエンジニ	アとして勤務			
対象学科·学年	祁	a a a c a c a c a c a c a c a c a c a c													
授業概要	t	せるコツと	<b>:、</b> 資	料づ	くりから本番	の再生ま	までプレゼ	ンを							
授業形式	講	義: (	Э	演	習: 0	実習:		実	技:	※ 主た	-る方法:○	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	20												
学習目標		0									成できる				
(到達目標)									· -· ·· - <del>-</del>						
		0	0		演習課題な	どに自主	的に取り	組み	理解を深める	ることができる					
テキスト・教材 参考図書	•	FOM出版	反信	報リ	テラシー 入	門編 Win	idows 10/	Offic	ce 2019対応						
	回数				授業	項目・内	容								
	1	ガイダン	ノス、	Powe	erPoint基本	操作(1)				と(1時間)					
	2	PowerP	oint	基本	操作(2) 表、	グラフ、図	図、図形の	操作			<b>小を復習し、理</b> り	解不足を補っておくこ			
	3	PowerP	oint 2	基本	操作(3) アニ	メーション	/効果、リ/	·\—	サル		<b>小を復習し、理</b> り	解不足を補っておくこ			
	4	PowerP	oint	基本	操作(4) マス	タースライ	 イドの作成	と利	 ]用	テキストのポイン	<b>小を復習し、理</b>	解不足を補っておくこ			
	5	演習(1)	-1 亦	パスタ	一作成					テキストのポイン	<b>小を復習し、理</b> が	解不足を補っておくこ			
	6	演習(1)-	-2 ホ	パスタ	一作成&評	 価				テキストのポイン	<b>小を復習し、理</b>	解不足を補っておくこ			
	7	中間テス	ストー	これる	までの理解度	を確認す	するテスト。	と解	 説	テキストのポイン	<b>小を復習し、理</b>	解不足を補っておくこ			
授業計画	8	プレゼン	/ /を成	ひさ	せるための	コツを学(	 ぼう			テキストのポイン	<b>小を復習し、理</b>	解不足を補っておくこ			
	9	演習(2)	1分	プレ1	 ビン&評価 -	- 自分を	プレゼンし	よう		シナリオの台本		備や各自の意見をま			
	10									シナリオの台本	となる資料の準	備や各自の意見をま			
									11 750	テキストのポイン		解不足を補っておくこ			
											小を復習し、理(	解不足を補っておくこ			
											゚レゼンができる	ように各自でリハーサ			
				ノレー	・ノ発表 - 4	·番、評価	1			ハーサルし調整	しておくこと(1時	間)			
	15	定期試	鋏												
	以上	-を、下訂	己の割	訓合	で評価する						以下)とする				
評価方法					1	語情報	-	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
H I Dest S. O. Speck							_								
							_								
			演習				0			0		10%			
				発表		U 5	©		A . I	0		20%			
履修上の注意									合は復習して 各はありませ	次の授業に踏 ん。	iみましょう。				

科目名	Ę	更生份	呆該	<b>養制</b>	度										
科目名(英)															
単位数		2単位	立		時間	<b>罰数</b>		30時間		担当者			中山か	おり	
実施年度	2022年度   実施時期 前期   実務家教員 担当科目   指神科病院での精神科医療シーカー(精神保健福祉士) □   福祉心理学科3年   相談援助に関わる組織、団体、関係機関及び専門職や地域の支援者、更生保護制度、医療観察法理解を深めていく。   実習: 実技: ※ 主たる方法:〇 その信意   接続   20														L
対象学科・学年	福	<b>温祉心理</b>	学科	3年								,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
授業概要					組織、団	体、関係	 機関	及び専	門職や	や地域の支持	爰者、更 <i>生</i>	主保護	制度、医療	観察法につい	て
授業形式	講	義(	)	演	当:	実	習:		実打	支:	*	主た	る方法:〇	その他:△	
		知的 運動 技能	態度 意欲	その他		<u>'</u>				目標	Ę				
学習目標	0		0		相談援助	こおいて必	要とな	る更生保	護制度	について理解す	ることがて	ぎる。			
(到達目標)	0				更生保護を	を中心に、	刑事司	討法∙少年記	法分	野で活動する組	織、団体及	なび専門	開職について理	!解することができ	·る。
										携の在り方につ	いて理解	すること	:ができる。		
テキスト・教材 参考図書	2	. 新•社会	₹福祉	士養	成講座「#	青神保健	福祉	こ関する制	前度と			)			
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示  オリエンテーション 授業の進め方や概要について説明 「精神保健福祉に関する制度とサービス」の「第83 療観察法の概要と実際」について復習しておく													
	1	授業項目・内容 授業外学修指示  オリエンテーション 授業の進め方や概要について説明 「精神保健福祉に関する制度とサービス」の「第6 療観察法の概要と実際」について復習しておく 「精神保健福祉に関する制度とサービス」の「第6 療観察法の概要と実際」について復習しておく 療観察法の概要と実際」について復習しておく													
	2	2. 新・社会福祉士養成講座「精神保健福祉に関する制度とサービス」中央法規 3. 社会福祉小六法 ミネルヴァ書房 4. 配布資料(資料を綴じるファイルの用意)  校業項目・内容 授業外学修指示  オリエンテーション 授業の進め方や概要について説明 精神保健福祉に関する制度とサービス」の「第療観察法の概要と実際」について復習しておく 医療観察制度の概要(1) 精神保健福祉に関する制度とサービス」の「第療観察法の概要と実際」について復習しておく 医療観察制度の概要(2) 授業の復習及び「第1章更生保護制度の概要」を予習しておく 更生保護制度の概要(1) 刑事司法のなかの更生保護 で予習しておく													
	3	授業項目・内容 授業外学修指示  オリエンテーション 授業の進め方や概要について説明 「精神保健福祉に関する制度とサービス」の「第療観察法の概要と実際」について復習しておく 医療観察制度の概要(1) 「精神保健福祉に関する制度とサービス」の「第療観察法の概要と実際」について復習しておく 医療観察制度の概要(2) 授業の復習及び「第1章更生保護制度の概要」で予習しておく 再生保護制度の概要(1) 刑事司法のなかの再生保護 授業の復習及び「第1章更生保護制度の概要」を													
	4	オリエンテーション 授業の進め方や概要について説明 「精神保健福祉に関する制度とサービス」の「第 療観察法の概要と実際」について復習しておく 「精神保健福祉に関する制度とサービス」の「第 療観察法の概要と実際」について復習しておく 医療観察制度の概要(2) 授業の復習及び「第1章更生保護制度の概要」で予習しておく 更生保護制度の概要(1) 刑事司法のなかの更生保護 授業の復習及び「第1章更生保護制度の概要」で予習しておく													
		オリエンテーション 授業の進め方や概要について説明 「精神保健福祉に関する制度とサービス」の「発療観察法の概要と実際」について復習しておく 「精神保健福祉に関する制度とサービス」の「発療観察法の概要と実際」について復習しておく 医療観察制度の概要(2) 授業の復習及び「第1章更生保護制度の概要 で予習しておく 「授業の復習及び「第1章更生保護制度の概要 で予習しておく 「授業の復習及び「第1章更生保護制度の概要 で予習しておく 「授業の復習及び「第1章更生保護制度の概要 で予習しておく 「要生保護制度の概要 で予習しておく 「要集の復習及び「第1章更生保護制度の概要 「要しておく」 「関連の概要 「要しておく」 「関連の概要 「要しておく」 「関連の概要 「要しておく」 「関連の概要 「要しておく」 「関連の概要 「要しておく」 「対象の復習及び「第1章更生保護制度の概要 「要素の復習及び「第1章更生保護制度の概要 「要素の復習及び「第1章更生保護制度の概要」 「対象の復習及び「第1章更生保護制度の概要 「要素の復習及び「第1章更生保護制度の概要」 「特殊の復習及び「第1章更生保護制度の概要」 「特殊の復習及び「第1章更生保護制度の概要」 「特殊の復習及び「第1章更生保護制度の概要」 「特殊の復習及び「第1章更生保護制度の概要」 「特殊の復習及び「第1章を表現しておくない。」 「特殊の復習及び「第1章を表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しておくない。」 「特殊の表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しておくない。」 「特殊の復習を表現しております」 「特殊の復習を表現しております」 「特殊の復図を表現しております」 「特殊の復図を表現しております」 「特殊の復図を表現しております」 「特殊の復図を表現しております」 「特殊の復図を表現しております」 「特殊の復図を表現しております」 「特殊の表現しております」 「特殊の意図を表現しております」 「特殊の意図を表現しております。」 「特殊の意図を表現しておりまする。」 「特殊の意図を表現しております。」 「特殊の意図を表現しております。」 「特殊の意図を表現しては、まります。」 「特殊の意図を表現しては、まります。」 「特殊の意図を表現しては、まりまする。」 「特殊の意図を表現しては、まりまする。」 「特殊の意図を表現しては、まりまする。」 「特殊の意図を表現しては、まりまする。」 「特殊の意図を表現しては、まりまする。」 「特殊の意図を表現しては、まりまする。」 「特殊の意図を表現しては、まりまする。」 「特殊の意図を表現しては、まりまする。」 「特殊の意図を表現しては、まりまする。」 「特殊の意図を表現しまする。」 「特殊の意図を表現しまする。」 「特殊の意図を表現しないまりまする。」 「特殊の意図を表現りまする。」 「特殊の意図を表現りまする。」 「特殊の意図を表現りまする。」 「特殊の意図を表現を表現りまする。」 「特殊の意図を表現り、「特殊の意図を表現りまする。」 「特殊の意図を表現りまする。」 「特殊の意図を表現りまする。」 「特													
											授業の復	習及び	「第1章更生保	護制度の概要」を	- 読ん
	7	更生保護	護制	度の	概要(4)	仮釈放	ζ				授業の復	習及び	「第1章更生保	護制度の概要」を	·読ん
授業計画	8	更生保護	護制	度の	概要(5)	保護観	察				授業の復	習及び	「第1章更生保	護制度の概要」を	読ん
	9	更生保護	護制	度の	概要(6)	保護観	察				授業の復	習及び	「第1章更生保	護制度の概要」を	·読ん
	10	更生保護	護制	度の	概要(7)	更生緊	急保	·····································			授業の復	習及び	「第1章更生保	護制度の概要」を	·読ん
	11	更生保護	護制	度の	概要(8)	犯罪被	医害者	等施策				習及び	「第1章更生保	護制度の概要」を	·読ん
	12	更生保護	護制	度の	担い手(*	1)						習及び		護制度の担い手	」を読
	13	更生保護	護制	度の	担い手(2	2)						習及び	「第2章更生保	護制度の担い手	」を読
	14	更生保護	護制	度に	おける関	係機関・	団体	との連携	·····································		裁判所見				
	15	まとめ													
	以上	を下記(	の観	点•害	施する。 削合で評f 90点以上	西する。				型する。 以上)・C(60;	点以上)・	D(59	点以下)とす	ける。	
評価方法						言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•♬	意欲	その他	評価割合	ì
1 July 7 7 74			期試			0								60%	
		宿題	・レィ	ポート	•	0					0			40%	
履修上の注意					した者には 期限厳守と					ない。					

科目名	5	就職	號実	矜	ξII											
科目名(英)																
単位数		2	単位			時間数		30時間		担当者		馬場・				
実施年度		202	22年月	度		実施時期	]	前期		担当者実務	<b>経験</b> 居宅介記	隻支援事業所に	て相談員			
対象学科・学年	∤	畐祉心	)理学	2科	3年						·					
授業概要	1	<b>書添肖</b>	间•面	接指	旨導る		定へ繋	げる。また	、ク	ラスや学科行	事を行い学	科・学年を跨し	企業研究・履歴 いで交流を深める			
授業形式	講	義:	0	)	演	習: △	実習:	0	実	技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他					目標						
				0		業界に適した	:清潔愿	ぬある身	嗜み	をし日常的に	-維持する事	ができる				
学習目標				0		社会人としての	りマナー	(挨拶・電話	・メー	-ル・態度など	)を身につけ事	異践することがで	<b>ごきる</b>			
(到達目標)	0					就職活動に	おいての	り報連相を	素早	く行うことが	できる					
	0					好感のもてる表	情や口調	で自身の伝	えたい	ことを話し、企業	美の求める人材	像に相応した面接	きができる			
				0		自身の立場を	をわきま	たえて行動	し、ほ	周囲へ配慮す	ることができ	·る				
テキスト・教材 参考図書	京															
	回数		授業項目•內容 授業外学修指示													
	1	オリ	授業項目•內容 授業外学修指示													
	2	求職	授業項目·内容													
	3	求職	票受	付百	<b>面接</b>	<u></u> とは②					就職ガイドブッ		 んでおくこと			
	4	求職									就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	5	求職	票作	成	2						就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	6	求職	票作	成	3						就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
m; 4  6 =	7	求職	漂受	付百	面接	練習①					就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
授業計画	8	求職	漂受	付百	面接	練習②					就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	9	求職	漂受	付百	面接	練習③					就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	10	求職	漂受	付百	面接	練習④					就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	11	求職	漂受	付百	面接	(本番)①					就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	12	求職	漂受	付百	面接	(本番)②					就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	13	履歴	書下	書き	<u>*(1)</u>						就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	14	履歴	書下	書き	<u>*2</u>						就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	15	履歴	書下	書き	<u>*2</u>						就職ガイドブッ	ク該当部分を読ん	んでおくこと			
	提出	出物は	は各期	月限:	を設	定する。以上	を下記	の観点・割	割合同	で評価する。						
<b>新年十</b> 年						言	語情報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
評価方法			授第	*態	度		0				0		50%			
			意欲	・努	引力						0		20%			
			提出	物壮	犬況						0		30%			
履修上の注意						でなければ気						響があること	に注意が必要。			

科目名		金印	翟七	žΞ	Ι										
科目名(英)															
単位数		2	2単位	Ī.		時間数		30時	間	担当者			馬場 -	-美	
実施年度		20	22年	度		実施時期	Į.	前期		担当者実務	経験	居宅介護	支援事業所に	て相談員	
対象学科•学年	<b>†</b>	富祉心	)理	学科	3年										
授業概要	疗													現場で経験し、 画的に実施す	
授業形式	講	義:			演	習: △	実	習: 0	実	技:		※ 主た	:る方法:〇	その他:△	
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他				•	目標	Ę				
学習目標			0	0		福祉事業所等						_			
(到達目標)	0	0		0						()をすることだ	バでき	る。			
		0		<u> </u>		各事業所等 希望就職施									
ニナフし。粉サ				0		布主机帆池	設ま/	こは正未ル	, ניוטי	とをもりり。					
テキスト・教材 参考図書	3	金曜ゼミ報告書  □数 授業項目・内容 授業外学修指示  1 自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等) 自主実習先へアポイントをとる。 予定表及び報告書の作成・提出。													
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示 自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等) 自主実習先へアポイントをとる。 予定表及び報告書の作成・提出。 自主実習先へアポイントをとる。													
	1	授業項目・内容 授業外学修指示 自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等) 自主実習先へアポイントをとる。 予定表及び報告書の作成・提出。													
	2	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等) 自主実習先へアポイントをとる。 予定表及び報告書の作成・提出。 自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等) 自主実習先へアポイントをとる。 予定表及び報告書の作成・提出。													
	3	自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等) 自主実習先へアポイントをとる。 予定表及び報告書の作成・提出。 自主実習(社会福祉施設や福祉事業所や一般企業等) 自主実習先へアポイントをとる。 予定表及び報告書の作成・提出。													
	4	自主	実習	冒(社	<b>上会</b> 礼	<b>証祉施設や福</b>	祉事	業所や一般	<b>设企業</b>	等)	自主実	€習先へア	ポイントをとる。	· <del>-</del>	
	5	自主	実習	冒(社	t 会 袺	温祉施設や福	祉事	業所や一	设企業	等)	自主集	ミ習先へア	ポイントをとる。 ・書の作成・提出	· •	
	6	自主	実習	冒(社	t 会 袺	温祉施設や福	祉事	業所や一	设企業	等)	自主集	ミ習先へア	ポイントをとる。 ・書の作成・提出	· ·	
lest alla E. I	7	自主	実習	冒(社	t 会 i	福祉施設や福	祉事	業所や一般	设企業	等)	自主集	ミ習先へア	ポイントをとる。 ・書の作成・提出	· •	
授業計画	8	自主	実習	冒(社	t 会 袺	温祉施設や福	祉事	業所や一	设企業	等)	自主集	ミ習先へア	ポイントをとる。 ・書の作成・提出	· ·	
	9	自主	実習	冒(社	t 会 袺	温祉施設や福	祉事	業所や一	<b>设企業</b>	等)	自主集	ミ習先へア	<u>■の1F級 提出</u> ポイントをとる。 ·書の作成・提出		
	10	自主	実習	冒(社	L会社	温祉施設や福	祉事	業所や一	<b>设企業</b>	等)	自主集	ミ習先へア	音の作成・提出 ポイントをとる。 ・書の作成・提出		
	11	自主	実習	冒(社	t 会 礼		祉事	業所や一	<b>股企業</b>	等)	自主集	習先へア	<del>書のfr成・提出</del> ポイントをとる。 ·書の作成・提出		
	12	自主	実習	冒(社	t 会 礼		祉事	業所や一		等)	自主集	ミ習先へア	・音の作成・提出 ポイントをとる。 ・書の作成・提出		
	13	自主	実習	冒(社	t 会 礼		祉事	業所や一		等)	自主集	習先へア	ポイントをとる。		
	14	自主	実習	冒(社	t会礼	温祉施設や福	祉事	業所や一	<b>设企業</b>	等)	自主簿	ミ習先へア	書の作成・提出ポイントをとる。		
	15	自主	実習	冒(社	t会补	温祉施設や福	祉事	業所や一	<b>设企業</b>	等)	自主集	ミ習先へア	·書の作成・提出 ポイントをとる。 ·書の作成・提出	-	
	活動	助報台	告書力	がな	い場	合は出席とみ	かなさ	ない。				X X O TN D	亩0万F/以* (灰山		
評価方法						言	語情	報 知的	技能	運動技能		€・意欲	その他	評価割合	
				席状								0		50%	
			<b>沽</b> 動	刀轮台	告書		0		)	0		0		50%	
履修上の注意						及び報告書 い場合は単				にない場合は	出席。	とみなさ	ない。		

<b>최모</b>	业主力	山 / 早	1 /Z± →	a 가나 나 다	ー 中 シ	———— ΣΙΠ						
科目名	<b>不</b> 月 1	中体	注注	福祉援助!	天 6	<u>———</u> Эп						
科目名(英)									_			
単位数	3	3単位		時間数		120時間		担当者			中山かる	おり
実施年度	20	22年月	度	実施時期	Ą	前期		担当者実務網	<b>経験</b> 制	神科医療 青神保健	療ソーシャル「 福祉士)	<b>ノーカー</b>
対象学科·学年	福祉	<b>心理</b> 学	学科3年	E								
授業概要	月~9	月の	間に精									学ぶ。3年次の8 設等で120時間
授業形式	講義:	Δ	·	實:	実習	習: O	実	支:	*	(主た	る方法∶○	その他:△
	言語 知的 情報 技能	運動 技能	態度 意欲 その	他				目標				
	0		0	精神保健福祉援助立	びに障	害者等の相談援助に	係る専	門的知識と技術につい	ハて、具体的	的かつ実際的	りに理解し実践的な	技術等の体得をしている。
学習目標	0 0		0	精神保健福祉援助	実習を	通して、精神障害者	のおか	れている現状を理角	解し、その生	生活実態や	生活上の課題につ	ついて把握し説明できる。
(到達目標)	0		0	精神保健福祉士	としてオ	℟められる資質、‡ ───	技能、	倫理、自己に求め	られる課題	題把握等、	総合的に対応で	できる能力を習得する。
	0		0	総合的かつ包括	的な地	域生活支援と関	連分野	の専門職との連	携のありた	方及びその	)具体的内容を	実践的に理解できる。
テキスト・教材 参考図書	精神伯	保健福	畐祉援	助実習日誌								
授業計画	習者(1(2)3)3る(1方(2)3(4(5)3)7年のよ入退多補導治日地生り利と(1)3(1)3)ア精実る院院職補者療常均に経済の用用用補補設設設に付金のの4.2ののの4.2ののののでは、1、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、	ミ指晥党科育に守せのよ験月 円月月月申申设をリ呆習背時又種診に中生の、し者円者者者医保機機実一健指導又はや療よの活精地、や滑理やや療健関署チ福・デー	導きは地病所な患や神域実そな解そそ・福見し先、社党急域院に指者社科の習の人とのの保祉事事がネ援は性移外お導及会病障先関間で関関・士業業地小助	このごのごのにとスに関した疾患、これのがいるとの、これのいるとの、これでは、これでは、これでは、これでは、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	習の可連学 相関の事より び・・種里員営設会関を 家け携生 談す連業る事 支友連とのや・資気です。 おいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいまい はいまいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまいまい はいまい はいまいまい はいまい はいまいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまいまい はいまいまい はいまいまい はいまいまいまいま	たいたよ 援る集を旨義 爰、、集的業・世襲のに、とよ、 援る集を旨義 爰、、集的業・世襲の、との者に表 由、して、との者に者 おいたのでで、というで、というで、というで、というで、というで、というで、というで、とい	者 助の 別 のりれのや 関擁る解る運団・をへ 家 支 家 神とボ 保護支 規営等発通	族 ( 接 を 経 族	をいい かい か	、 次 次 実 コ ン ト 子 と は く と の な と り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	がる事項を終 を通して、次に ユニケーション なりとその でのというと でのとく な地域で では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	
評価方法	以上を1 成績評値	下記の 価基準 習日記	観点		る。	点以上)•B(7	0点」			•D(59) 意欲		る。 評価割合 40% 60%
履修上の注意	「精神			爰助実習指導 Ⅱ	[ ][=;	おける課題を	·全て	達成している	ことが	履修の	条件となる。	

科目名	· 字 佐 心												
	│ 家族心理学 ────────────────────────────────────												
科目名(英)					-1			1					
単位数 		2単位	位		時間	数	30時間		担当者		矢野隆子		
実施年度		2022年	F度		実施	寺期	前期	前期 担当者実務		圣験	カウンセラー歴28年		
対象学科 - 学年	福祉心理学科3年												
授業概要	家族とは何か、変化する多様な家族形態、家族をとりまく問題などに対して心理学や家族システム理論、家族療法の視点から学習する。授業において前半は家族を理解するための基礎的な概念や発達、家族現象などの関連要因について考察し、後半では家族理解と支援の方法をグループ学習や演習によって実践的に学ぶ。												
授業形式	講	講義: 〇		演	習: △	実習:	習: 実技:		支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△	
学習目標(到達目標)	言語 情報	知的 運動技能 技能	能 意欲 その他						目標				
	0				家族の定義や機能について複数の視点から説明ができる。								
		0			家族療法の知識や視点を踏まえ、家族や家族を取りまく諸問題の理解や分析ができる。								
		□ 現代的な家族問題とその支援の方法について説明することができる。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □											
		家族に関する心理学的な視点からの知識を学び、関連した療法の概要を説明することができる。										らことができる。 	
テキスト・教材 参考図書		有斐閣ブックス2019年 第2版「家族心理学—家族システムの発達と臨床的援助」 ミネルヴァ書房2,017年 初版7刷「よくわかる家族心理学」											
	回数				授	業項目・内	容		授業外学修指示				
	1	科目ガー	イダン	ノス	・グルー	プエンカウ							
	2	家族と	はなに	こか	①日本の	家族現象と		教科書の該当範囲を読んでおくこと					
	3	②多村	兼化す	トる家	家族の形と	機能 ビデ	ァミリー」	教科書の該当範囲を読んでおくこと					
	4	3家加	矢の変	を化と	 :発達			教科書の該当範囲を読んでおくこと					
	5	家族シ	ステノ	」理記	金家族療	 法	教科書の該当範囲を読んでおくこと						
	6	家族を	理解	するか	こめの鍵根	教科書の該当範囲を読んでおくこと							
ا علاد ا	7	グルー	プワー	ーク	「家族に関								
授業計画	8	家族の	発達。	と課題	<b>通</b> ①結婚	教科書の該当を読んでおくこと							
	9	家族の	の発達	<u></u> 2	 )子育て期	教科書の該当範囲を読んでおくこと							
	10				思春期か	教科書の該当範囲を読んでおくこと							
	11				老年期の	教科書の該当範囲を読んでおくこと							
	<u> </u>				アプローチ		教科書の該当範囲を読んでおくこと						
					<u>/ / / / / / / / / / / / / / / / / / / </u>			教科書の該当範囲を読んでおくこと					
								教科書の該当範囲を読んでおくこと					
		14 代表的な家族援助の実際①夫婦 15 家族療法の実際② 子育て ·家族心理学まとめ									教科書の該当範囲を読んでおくこと		
	10   水が、ボログスを コロ												
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業への参加態度(グループワーク・振り返りシート提出) 成績評価はS(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする												
						言語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
		定	期試	験		0	0					80%	
		演習・グ	゛ルー	プワ	一ク					0		10%	
		振り返り	・レホ		提出	0	0			0		10%	
履修上の注意	ㅂ	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。											

科目名	権利擁護と成年後見制度													
科目名(英)														
単位数	2単位				時間数		30時間		担当者		伊東良輔			
実施年度	2022年度				実施時期	Ħ	前期		担当者実務		介護実習普及センター 9年 独立型社会福祉士事務所 7年			
対象学科·学年	祁	福祉心理学科3年										2 2 2		
授業概要	害	相談援助活動と法との関わりについて学ぶ。相談援助活動において必要となる成年後見制度(後見人等の役割を含む)について学ぶ。社会的排除や虐待等の権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について学ぶ。												
授業形式	講	講義: 〇		演	習: △	実習:	習: 実		技:	※ 主た	※ 主たる方法:〇 その他			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 運技能 技	1的 運動 態度 変能 技能 意欲						目標					
	0 0 0		0				との関わりについて理解できる。							
	0	0 0 0			成年後見制									
	0	〇 社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症等の日常生活上の支援が必要な者に 権利擁護活動の実際について理解できる。									必要な者に対する			
テキスト・教材 参考図書	亲	新・社会福祉士養成講座「権利擁護と成年後見制度」における(中央法規出版)												
	回数				授業	項目•内	<del>~~~~~</del> 容		授業外学修指示					
	1	日本国	憲法	の <sup>I</sup>	里解					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	2	行政法	よの理	解				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと						
	3	民法の	理解				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	4	民法の	)理解	2			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	5	成年後	<b></b> 見制	度①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	6	成年後	<b>見制</b>	度②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
170 ## = L TET	7	成年後	<b></b> 見制	度③		教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
授業計画	8	日常生	活自	立支	援事業	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
	9	成年後	<b></b> 見制	度利	用支援事業	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
	10	権利挧	誰護に	関わ	る組織・団体	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
	11	権利挧	誰護に	関わ	る専門職の役	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
	12	成年後	<b></b> 見活	動の	実際		教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	13	権利扬	誰護活	動の	実際	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
	14	ミニテ	スト				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	15	まとめ	•振り	返り										
	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2)宿題・レポートを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。													
評価方法					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合		
			定期記			0	0					50%		
		宿	題・レ	ポート	·	0	0			0		50%		
履修上の注意	出	出席が3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。												